

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第49号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月27日 08時30分ごろ	
発生場所	鹿児島県奄美空港飛行場灯台から真方位222° 3.2海里付近 (概位 北緯28° 23.5′ 東経129° 40.0′)	
事故等調査の経過	平成21年6月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 第一エコープ、499トン 船舶番号、船舶所有者等 134539、松村海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底左舷側凹損、プロペラ翼欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約2.35m、船尾約4.03mの喫水で、荒天避難のため奄美大島の北東岸沖で錨泊したのち、抜錨して鹿児島県山間港に向かうため、カメドロ（暗岩）から0.5海里離す針路とし、徐々に増速して概ね6ノットの速力で航行した。その後、本船は潮流の影響を受けてカメドロに向け圧流される状況となり、カメドロに左舷船底が乗り揚げた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、航行中、船位の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 船長は、潮流の影響を受けてカメドロに向け圧流される状況となった際、海図の整理を始め、この状況に気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が奄美空港飛行場灯台南西方沖を航行中、船位の確認を適切に行わなかったため、暗岩に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	